

自立活動の授業づくり

水呑小学校では、次の手順で自立活動の授業づくりを進めています。

0 アセスメントをもとに、課題を整理する

児童一人ひとりのアセスメント結果をもとに、課題を整理しました。

児童	アセスメント結果	課題
A	場面に合わせた伝え方 行動のコントロール 集団活動（参加・協力・話し合い）	集団活動（参加・協力・話し合い） 場面に合わせた伝え方 行動のコントロール 意思や疑問の表出・伝達 わかりやすく伝える
B	意思や疑問の表出・伝達 わかりやすく伝える 環境（人・モノ）への働きかけ 集団活動（参加・協力・話し合い）	
C	場面に合わせた伝え方 集団活動（参加・協力・話し合い） 他者の尊重（許容・譲歩・謝罪）	
D	意思や疑問の表出・伝達 わかりやすく伝える 場面に合わせた伝え方 意見の譲歩 集団活動（参加・協力・話し合い）	
E	場面に合わせた伝え方 行動のコントロール 集団活動（参加・協力・話し合い）	

Point① アセスメントをもとに、課題を整理しましょう。

1 アセスメントをもとに、学習内容を考える

全員の課題である「集団活動（参加・協力・話し合い）」をもとに、自立活動の学習内容を考えました。

課題	集団活動（参加・協力・話し合い） 3 人間関係の形成
学習内容	自立活動の学習内容を話し合っ決めて。

2 学習内容をもとに、題材と目標を考える。

全員の課題ではなかった「場面に合わせた伝え方」や「行動のコントロール」等は、各自の目標として設定しました。

課 題	集団活動（参加・協力・話し合い）
学習内容	自立活動の学習内容を話し合っで決める。
題 材	「今日の自立活動、何をする？」
目 標	<ul style="list-style-type: none">・ 話し合いに参加することができる。・ 自分の意見を伝えることができる。・ 自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりすることができる。

Point② 学習内容をもとに題材を考え、子どもの実態に合わせた目標を考えましょう。

3 題材と目標から、到達状況の基準を考える。

題材と、全員の課題である「集団活動（参加・協力・話し合い）」、それぞれの課題である「場面に合わせた伝え方」や「行動のコントロール」等の目標から、到達状況の基準を考えました。

また、目標を達成するための教師の役割を考えました。

課 題	集団活動（参加・協力・話し合い）
学習内容	自立活動の学習内容を話し合っで決める。
題 材	「今日の自立活動、何をする？」
目 標	<ul style="list-style-type: none">・ 話し合いに参加することができる。・ 自分の意見を伝えることができる。・ 自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け入れたりすることができる。
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none">・ 話し合いの内容を聞いている。・ 話し合う内容に沿った、自分の意見を伝えている。・ 活動を提案したり、反対意見を言ったりしている。・ 自分と意見が異なっても、状況によっては相手の意見に賛成している。
教師の役割	<ul style="list-style-type: none">・ 「何がしたい？」「どうやって決める？」等、話し合いの道筋を示す。

Point③ 目標を達成した子どもの姿から、教師の役割を考えましょう。

